

造血幹細胞移植後のワクチン予防可能疾患の疾病負荷に関するデータベース調査研究

1. 研究の対象

1990年1月から2022年12月の間に造血幹細胞移植を実施され、日本造血・免疫細胞療法学会（JSTCT）および日本造血幹細胞移植データセンター（JDCHCT）にて実施された全国調査に登録された患者さんです。

2. 研究意義・目的

研究目的：造血幹細胞移植後のVPDの頻度や感染リスクを明らかにします。

（VPD：はしかやおたふくかぜ、帯状疱疹、肺炎球菌感染症などワクチンで予防が可能な感染症）

3. 研究の方法・対象とする情報の種類

研究方法：データベースに登録されているデータ（特定の個人を識別することができないよう研究用の符号が付けられている。）を用いて調査します。

日本造血幹細胞移植データセンターより提供された、個人情報が出られないよう研究用の符号が付けられたデータ（疾患、移植法、移植成績等）を解析に用います。

研究実施期間：研究許可日～2028年12月31日

4. 試料・情報の授受

試料・情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。具体的には、パスワードを付し、外部ファイル共有サービス等により実施します。対応表は、提供元機関の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター 沖中敬二（研究責任者）、福田隆浩、若林 将史、池野 敬

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報を守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1 電話番号 04-7133-1111

国立がん研究センター東病院 感染制御室 沖中 敬二